

# 食料高騰「前例ない危機」

WFP事務局長、価格安定呼びかけ

ロシアによるウクライナ侵攻後、世界の食料危機が深刻化している」と受け、国連安全保障理事会は19日、会合を開いた。世界食糧計画(WFP)のビーズリー事務局長は現在の状況を「前例のない危機」と呼び、特に食料の価格を安定させよう訴えた。

ビーズリー氏は、食料価格の上昇は政情不安や暴動を招くと説明。輸出拠点であるウクライナの港を開く必要性を説き、世界の指導者に「市場を安定化するためあらゆる手段を講じる

べきだ」と呼びかけた。

食料危機については米国が18日会合を主催し、国連本部では2日連続での会合になった。19日は安理会の15理事国のほかに約60カ国が発言して危機感を示し、ロシアの責任を追及する声も囂立った。

だが、ロシアのネベンジャ大使は「あなた方(欧米諸国)は発展途上国を人質にして飢餓に向かわせようとしている」と述べ、対口制裁が影響を与えていふとの持論を語った。

(ユーノークリー藤原学)